



みんなで築いた50年 次に進もう新時代

2020年
えびの市制施行50周年記念誌

えびの市は、今年で市制施行 50 周年という記念すべき節目を迎えました。振り返りますと、昭和 41 年に飯野町、加久藤町、真幸町が合併しえびの町が発足され、その後、昭和 45 年にえびの町が市制施行を開始しえびの市となりました。その後 50 年という年月の中で本市は、九州自動車道全線開通により交通の要衝として、そして陸上自衛隊えびの駐屯地開庁や企業誘致などによって着実に南九州の交流拠点都市として発展してまいりました。

また、えびの産ヒノヒカリの食味ランキング「特 A」獲得や全国和牛能力共進会 3 連覇、更には霧島山の日本ジオパーク認定など、比類のないえびの市の豊かな自然の恵みを磨き上げ、これまで先人の方々が繋いできた功績と共に新たな歴史を紡いできました。

このような恩恵を受ける一方、えびの地震や山津波・豪雨による水害、新燃岳・硫黄山の噴火などの自然災害や口蹄疫にも見舞われましたが、そのたびに市民一丸となってピンチをチャンスに変え復興にご尽力いただいたおかげで、今のえびの市があります。すべての大自然を受け入れ、力強く共存してきた人々の生きざまこそが、このまちの歴史であり我々の誇りでもあります。

そして今、新型コロナウイルス感染症や温暖化など新たな脅威が押し寄せる中、私たちはこれまで通りピンチをチャンスに変え、現実と力強く共存しながら明るい未来に向けて結束していかなくてはなりません。それが今を生きる我々の使命なのではないでしょうか。

本日は、この大きな節目を、これまでえびの市を築き上げてこられた先人に感謝し、未来への希望を確信する式典として、皆様と時間を共有したいと思います。皆様には、改めて更なるえびの市の発展に向けて引き続きお力添えくださいますようお願い申し上げます。

えびの市長 村 岡 隆 明



えびの市が市制施行 50 周年を迎えました。心よりお祝い申し上げますとともに、市民の皆様と、この大きな節目の年を迎えることができましたことに感慨深い思いがあります。

本市は、昭和 41 年 11 月 3 日に飯野町、加久藤町、真幸町の三町が合併しえびの町となり、さらに、昭和 45 年 12 月 1 日に市制施行の特例により市制を施行し、現在に至っております。

これまでの 50 年間は、社会・経済状況の各般にわたって、大きな変化の時代でありました。昭和から平成、令和へと時代が変わる中、本市においては、行財政改革を進めながら道路・水道・教育施設をはじめ、各種の市民生活に欠くことのできない社会基盤の整備が進められてきました。そのような中、えびの地震・風水害、そして硫黄山噴火などの自然災害や口蹄疫の発生など、地域経済に深刻な影響が生じ幾多の困難を乗り越えてきました。これもひとえに市民の皆様、関係各位のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

現在の日本は、少子高齢化、情報化、国際化など急速に変化しており、本市においても人口減少、少子高齢化などは喫緊の課題であり、市民の皆様が安心して暮らせる、各種施策の一層の充実が求められています。

市制施行 50 周年の歩みから、先人が築き上げてこられた文化や歴史を再発見し、一人ひとりが幸せを実感できるまち、次世代を担う子どもたちが誇れるまちとして、引き継いでいかなければなりません。

市議会といたしましても、自らの創意と工夫によってえびの市のまちづくりを推進していく必要があります。開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指して議員一同、より一層の努力をいたす所存であります。

結びに、市制施行 50 周年を祝し、えびの市のますますの発展と、市民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

えびの市議会議長 北 園 一 正





【記念誌 目次】

名誉市民紹介	2
アトラクション出演者紹介	4
歴代市長・歴代議長	5
市議会議員	7
五十年のあゆみ	8
自治会紹介	12
まちづくり協議会紹介	16
市民メッセージ	18
応援者メッセージ	21
数字でみる現在のえびの	24
これからのえびの	24
未来のわたし	26
わたしたちのえびの	29

【記念式典 次第】

えびの市制施行50周年記念式典プレイベント
「陸上自衛隊第8音楽隊えびの演奏会」

日時：12月5日（土） 午後2時開演

会場：えびの市文化センター

えびの市制施行50周年記念式典

日時：12月6日（日） 午前10時～正午

会場：えびの市文化センター

①オープニングセレモニー

市制施行50周年記念動画上映

②記念式典の部

1. 開会のことば
2. 国歌斉唱
3. 市民憲章朗読
4. 市長式辞
5. 議長あいさつ
6. 来賓祝辞
7. 来賓紹介
8. 祝電披露
9. 名誉市民称号授与式
10. 閉会のことば

③アトラクションの部

1. 市制施行50周年記念事業
ロゴマークおよび
キャッチフレーズの紹介・表彰
2. 郷土芸能披露 金屏風
【金屏風保存会】
3. えびの市民歌・えびの音頭踊り披露
【飯野高等学校】

名誉市民

松形 祐堯

生年月日 大正 7年 2月26日
没年月日 平成19年 8月23日

(敬称略)



(写真提供：宮崎県)

えびの市出身で、宮崎県知事として6期24年にわたり在職され、県政の発展と県民の福祉向上に多大な功績を残された。

最終学歴・職歴・賞

昭和16年 九州帝国大学農学部林学科 卒業
昭和17年 農林水産省 入省
昭和44年 熊本営林局長 就任
昭和46年 林野庁 指導部長 就任
昭和49年 林野庁長官 就任 (昭和51年退官)
昭和53年 林業信用基金 理事長 就任 (昭和54年退任)
昭和54年 第45代宮崎県知事 就任
昭和58年 第46代宮崎県知事 就任
昭和62年 第47代宮崎県知事 就任
平成3年 全国知事会 副会長 就任 (平成15年退任)
平成3年 第48代宮崎県知事 就任
平成7年 第49代宮崎県知事 就任
平成11年 第50代宮崎県知事 就任 (平成15年退任)
平成15年 みどりの文化賞 受賞
平成16年 旭日大綬章 受章

県知事としての主な功績等

【農業】 みやざきブランド確立 後継者対策 「立体園芸」推進 試験・研究体制強化
【林業】 人工林資源造成 林道整備 高性能林業機械等導入 試験・研究体制強化
木材利用技術センター設置 フォレストピア宮崎構想推進
【水産業】 栽培漁業・養殖漁業推進 内水面漁業振興 カツオ・マグロ基地育成
【商工業】 企業誘致推進 雇用創出 工業技術センター設置
【観光等】 宮崎・日南海岸リゾート構想推進 「スポーツランドみやざき」推進
「国際コンベンション・リゾートみやざき」推進
リゾートコンベンション施設シーガイア整備促進
2002FIFA ワールドカップサッカーキャンプ誘致
九州・沖縄サミット宮崎外相会合開催
【交通網】 空港・港湾整備 高規格幹線道路網の整備
【医療・福祉】 高齢者福祉充実 県立病院改築 県立看護大学設置
【教育・文化】 県総合文化公園(図書館・美術館・芸術劇場)整備 宮崎学園都市建設
宮崎国際音楽祭開催
【その他】 新ひむかづくり運動推進 国土保全奨励制度推進

名誉市民

黒木 和雄

生年月日 昭和 5年11月10日

没年月日 平成18年 4月12日

青年期をえびの市で過ごされた映画監督で、数々の名作を制作し、多くの映画賞を受賞されるなど、映画業界に多大な影響を与えられた。

最終学歴・職歴・賞

昭和29年 同志社大学法学部 中退

昭和29年 岩波映画製作所 入社

昭和36年 岩波映画製作所 退社

フリーランス映画監督となる

平成15年 宮崎県文化賞 文化功労部門



(敬称略)

(写真提供：ご家族)

主な作品と受賞歴

昭和41年 とべない沈黙

昭和44年 キューバの恋人

昭和45年 日本の悪霊

昭和49年 竜馬暗殺

昭和50年 祭りの準備

昭和53年 原子力戦争Lost Love

昭和55年 夕暮まで

昭和58年 泪橋

昭和63年 TOMORROW／明日

シカゴ映画祭審査員特別賞

芸術選奨文部大臣新人賞

サレルノ映画祭最優秀監督賞

芸術選奨文部大臣賞

キネマ旬報ベストテン日本映画監督賞

日刊スポーツ映画大賞監督賞

報知映画賞作品賞

平成 2年 浪人街

平成12年 スリ

平成15年 美しい夏キリシマ

(※えびのオールロケ作品)

日本映画批評家大賞監督賞

キネマ旬報ベストテン日本映画ベストワン

キネマ旬報ベストテン日本映画監督賞

日本映画ペンクラブ会員選出ベスト5 日本映画部門1位

日刊スポーツ映画大賞監督賞

日本映画復興賞

毎日映画コンクール監督賞

山路ふみ子映画賞

エランドール特別賞

報知映画賞特別賞(監督で受賞)

平成16年 父と暮せば

平成18年 紙屋悦子の青春

アトラクション出演者紹介

令和2年12月5日(土) プレイベント



陸上自衛隊第8音楽隊

陸上自衛隊第8音楽隊は北熊本に駐屯する、音楽演奏を主任務とする部隊です。南九州3県を防衛担任する第8師団の音楽隊として、熊本、宮崎、鹿児島を演奏担任しています。

主な演奏活動として定期演奏会、ふれあいコンサート、巡回演奏会などを実施するとともに、市町村からの要請による演奏や、音楽鑑賞会、学生吹奏楽部の技術指導などを行い、地域の皆さんとの親近感の醸成を図っています。



指揮者
第8音楽隊長 1等陸尉
川良 匠

令和2年12月6日(日) 記念式典アトラクションの部



郷土芸能 金屏風保存会

金屏風、通称トンコチンの踊りは、肥後の城主加藤清正が朝鮮出兵にあたり、郷土武士の士気を鼓舞するために踊らせたものと伝えられています。

歌には京都の五条の橋や源義経の武勇を称える歌詞が歌い込まれており、約400年前から踊られています。

記念式典では市制施行50周年の慶祝気分を鼓舞するために披露し、優雅で上品な踊りが50周年の式典に華を添えます。



えびの市民歌・えびの音頭踊り (飯野高等学校)

市制施行10周年記念事業として制作された「えびの市民歌」と「えびの音頭」。市制施行50周年という記念すべき節目に新たな世代へと受け継がれることを願い、宮崎県立飯野高等学校の生徒が「えびの市民歌・えびの音頭踊り」を披露します。

市制施行10周年記念事業に携わった太田先生の指導により当時の踊りを再現します。

歴代市長



初代
永崎 公

就任 昭和45年12月1日
退任 昭和49年11月24日



2代～4代
中間 俊範

就任 昭和49年11月25日
退任 昭和61年1月31日



5代～8代
松形 良正

就任 昭和61年3月16日
退任 平成14年3月15日



9代～10代
宮崎 道公

就任 平成14年3月16日
退任 平成21年9月16日



11代～13代
村岡 隆明

就任 平成21年10月13日
在任中

歴代議長



初代
宮原 祐勝

就任 昭和45年5月21日
退任 昭和46年11月2日



2代～5代
藺田 芳也

就任 昭和46年11月8日
退任 昭和54年11月2日



6代
加世田 一男

就任 昭和54年11月6日
退任 昭和56年11月6日



7代
森 親

就任 昭和56年11月6日
退任 昭和58年11月2日



8代
田中 保

就任 昭和58年11月7日
退任 昭和60年11月7日



9代
千代反田 貢

就任 昭和60年11月7日
退任 昭和62年11月2日



10代
徳永 正則

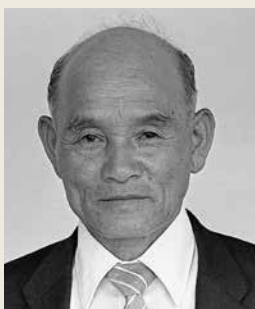
就任 昭和62年11月9日
退任 平成元年11月21日



11代
鷺牟礼 肇

就任 平成元年11月21日
退任 平成2年8月29日

歴代議長



12代
山下 茂

就任 平成2年 8月 29日
退任 平成3年 11月 2日



13代
田島 幸雄

就任 平成3年 11月 8日
退任 平成4年 6月 25日



14代、18代
蔵南 善之

就任 平成4年 7月 10日
退任 平成5年 11月 9日
就任 平成11年 11月 8日
退任 平成13年 11月 8日



15代
宮崎 道公

就任 平成5年 11月 9日
退任 平成7年 11月 2日



16代
富岡 務

就任 平成7年 11月 9日
退任 平成9年 11月 10日



17代
有馬 正雪

就任 平成9年 11月 10日
退任 平成11年 11月 2日



19代
白川 久

就任 平成13年 11月 8日
退任 平成15年 11月 2日



20代
宮浦 佳紀

就任 平成15年 11月 10日
退任 平成17年 11月 14日



21代
宮崎 和宏

就任 平成17年 11月 14日
退任 平成19年 11月 2日



22代
高牟禮 宏邦

就任 平成19年 11月 12日
退任 平成21年 8月 18日



23代
溝辺 一男

就任 平成21年 10月 8日
退任 平成23年 10月 11日



24代
蔵園 晴美

就任 平成23年 10月 11日
退任 平成25年 9月 25日



25代
本石 長永

就任 平成25年 10月 1日
退任 平成27年 10月 1日



26代
竹中 雪宏

就任 平成27年 10月 1日
退任 平成29年 9月 25日



27代
上原 康雄

就任 平成29年 10月 3日
退任 令和元年 10月 3日



28代
北園 一正

就任 令和元年 10月 3日
在任中

市議会議員

令和二年十月一日現在
在任中



議長
北園 一正



副議長
遠目塚 文美



議員
小宮 寧子



議員
吉留 優二



議員
金田 輝子



議員
中山 義彦



議員
小東 和文



議員
田口 正英



議員
松窪 ミツエ



議員
上原 康雄



議員
竹中 雪宏



議員
西原 義文



議員
西原 政文



議員
蔵園 晴美



議員
栗下 政雄

五十年のあゆみ

和 暦	西 暦	月	日	出 来 事
昭 和				
15年	1940年	4月	3日	飯野町制施行
25年	1950年	4月	1日	真幸町制施行
30年	1955年	2月	11日	加久藤町制施行
40年	1965年	4月	1日	宮崎県立飯野高等学校 創立
41年	1966年	11月	3日	飯野・加久藤・真幸3町合併 「えびの町」誕生
43年	1968年	2月	21日	えびの地震 (被害額65億円)
45年	1970年	12月	1日	市制施行「えびの市」誕生
47年	1972年	4月	5日	加久藤トンネル 開通
47年	1972年	7月	6日	まさき山津波発生 (死者4人、被害額24億円)
48年	1973年	6月	18日	市民憲章制定
51年	1976年	3月	4日	九州縦貫自動車道（宮崎線えびの～ 高原間28.5km）開通
53年	1978年	2月	1日	市内3農協合併 「えびの市農業協同組合」発足
53年	1978年	12月	1日	市の木「きりしまあかまつ」 市の花「えびね」制定
54年	1979年	10月	15日	第34回国民体育大会秋季大会弓道 競技 開催
55年	1980年	2月	1日	えびの市民歌・えびの音頭制定
55年	1980年	12月	1日	市制施行10周年記念式典
56年	1981年	10月	1日	九州縦貫自動車道（鹿児島線えびの ～栗野間15.7km）開通
56年	1981年	12月	20日	陸上自衛隊えびの駐屯地 開庁
58年	1983年	11月	3日	第1回「ふるさと市民文化祭」開催
59年	1984年	10月	27日	総合文化施設建設起工式
60年	1985年	12月	21日	文化センター 完成
63年	1988年	7月	30日	第1回「田の神さあどり大会」開催



まさき山津波発生



九州縦貫自動車道（宮崎線えびの～高原町）開通



陸上自衛隊えびの駐屯地開庁



第1回 田の神さあどり大会

和 暦	西 暦	月	日	出 来 事
平 成				
元年	1989年	3月	29日	総合福祉センター 完成
元年	1989年	4月	1日	環境センター 稼働
元年	1989年	3月	22日	王子原運動公園野球場 完成
2年	1990年	11月	1日	市内4駅 駅名改称
2年	1990年	12月	1日	市制施行20周年記念式典
3年	1991年	5月	1日	白鳥森林公園 オープン
3年	1991年	11月	2日	海上自衛隊潜水艦用超長波（VLF）送信所 完成
4年	1992年	8月	2日	全国高等学校総合体育大会 女子バレーボール競技 開催
5年	1993年	4月	1日	永山運動公園 オープン
5年	1993年	8月	6日	記録的集中豪雨による堂本井堰崩壊 湯田橋一部欠落
5年	1993年	11月	25日	九州縦貫自動車道加久藤トンネル 貫通
6年	1994年	4月	21日	えびの市国際交流センター 開館 （ベルトン市と姉妹都市締結）
6年	1994年	5月	21日	えびの市民図書館・歴史民俗資料館 開館
7年	1995年	7月	27日	九州縦貫自動車道（えびの～人吉 22.3km）開通
8年	1996年	4月	1日	飯野・加久藤・真幸3商工会合併 「えびの市商工会」発足
9年	1997年	8月	5日	美化センター・一般廃棄物最終処分 場 完成
10年	1998年	11月	5日	日米共同訓練実施（霧島演習場）
11年	1999年	3月	27日	高齢者住宅福祉機能施設 「ふれあい館」 完成
12年	2000年	7月	4日	真幸地区向江排水機場 完成
12年	2000年	10月	26日	養護老人ホーム「真幸園」新築移転 落成記念式典
12年	2000年	12月	1日	市制施行30周年記念式典
13年	2001年	4月	26日	九州自動車道（えびのPA～えびの IC間）4車線化完成
13年	2001年	7月	1日	矢岳高原ベルトンオートキャンプ場 オープン
13年	2001年	8月	1日	映画「美しい夏キリシマ」 えびのロケ スタート



市制施行20周年記念式典



九州縦貫自動車道加久藤トンネル貫通



矢岳高原ベルトンオートキャンプ場オープン



映画「美しい夏キリシマ」ロケ風景

五十年のあゆみ

和 暦	西 暦	月	日	出 来 事
平成				
14年	2002年	4月	1日	えびの市女性消防団発足
15年	2003年	10月	4日	西諸地域市町村任意合併協議会 (法定合併協議会不参加表明)
16年	2004年	7月	30日	新上真幸橋 開通
16年	2004年	8月	4日	みやまきりしまロード 開通
16年	2004年	12月	11日	九州縦貫自動車道(人吉～えびの 間) 4車線化完成
17年	2005年	9月	6日	台風14号上陸 (被害額約4億円)
18年	2006年	3月	15日	グリーンパークえびの オープン
18年	2006年	4月	18日	くるぞん 狗留孫大橋 開通
18年	2006年	7月	21日	記録的大雨7月豪雨災害 (被害総額14億3,419万円)
19年	2007年	1月	16日	霧島演習場市街地訓練場 完成
21年	2009年	10月	18日	第22回全国スポーツレクリエー ション祭「スポレクみやざき 2009」ターゲット・バードゴルフ 競技 開催
21年	2009年	11月	21日	肥薩線開通100周年記念駅まつり
22年	2010年	4月	28日	市内で口蹄疫発生
22年	2010年	9月	14日	霧島山 日本ジオパーク認定
22年	2010年	11月	28日	市制施行40周年記念式典
22年	2010年	12月	6日	日米共同訓練実施(霧島演習場)
23年	2011年	1月	26日	霧島山(新燃岳)の噴火 (27日爆発的噴火)
23年	2011年	5月	7日	真幸駅開業100周年記念式典
24年	2012年	9月	6日	島内地下式横穴墓群の出土品 国の重要文化財指定
24年	2012年	10月	7日	吉都線100周年記念イベント
24年	2012年	10月	29日	「全国和牛能力共進会」2大会連続 「内閣総理大臣賞」受賞
25年	2013年	4月	20日	道の駅えびの オープン
25年	2013年	5月	1日	市民活動支援センター 開設
25年	2013年	11月	23日	田代自治会「第52回農林水産祭」 むらづくり部門最高賞「天皇杯」受 賞



グリーンパークえびののオープン



口蹄疫発生



霧島山(新燃岳)噴火



吉都線100周年記念

和 暦	西 暦	月	日	出 来 事
平 成				
26年	2014年	4月	1日	市内全小中学校30人学級実施
26年	2014年	4月	13日	高齢者交流プラザ 開館
26年	2014年	4月	25日	えびの駅 国の有形文化財登録
27年	2015年	10月	3日	宮崎県立飯野高等学校 創立50周年記念式典
27年	2015年	12月	16日	「2015道の駅グランプリ」 宮崎県内1位、九州・沖縄3位（道の駅えびの）
28年	2016年	1月	下旬	えびの市に寒波襲来
28年	2016年	2月	25日	平成27年産米の食味ランキング宮崎県内初最上位「特A」獲得（えびの産ヒノヒカリ）
28年	2016年	5月	9日	「えびの市移住・定住支援センター」開設
28年	2016年	6月	5日	真幸地区コミュニティセンター・真幸出張所リニューアルオープン
29年	2017年	2月	22日	「2016道の駅グランプリ」 九州・沖縄1位（道の駅えびの）
29年	2017年	4月	7日	えびの市起業支援センター（E-bic）開設
29年	2017年	9月	11日	「全国和牛能力共進会」3大会連続 「内閣総理大臣賞」受賞
30年	2018年	2月	21日	えびの地震発生50年記念講演会
30年	2018年	3月	24日	アウトドアステーションえびの オープン
30年	2018年	4月	19日	硫黄山噴火（21日ごろから長江川 白濁）
30年	2018年	7月	1日	京町温泉駅観光交流センター オープン
30年	2018年	8月	21日	えびの市防災食育センター運用開始
31年	2019年	3月	17日	JR吉都線えびの駅耐震改修等工事 竣工式
31年	2019年	3月	23日	道の駅えびののリニューアルオープン
31年	2019年	3月	24日	加久藤橋開通式
令 和				
元年	2019年	7月	31日	全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技 開催
2年	2020年	1月	18日	日米共同訓練実施（霧島演習場）
2年	2020年	4月	8日	新型コロナウイルス感染拡大を受けて国の緊急事態宣言発令
2年	2020年	4月	20日	足湯の駅えびのの高原 リニューアル オープン



えびの産ヒノヒカリ「特A」獲得



全国和牛能力共進会



道の駅えびののリニューアルオープン



全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技開催

〈えびの市自治会連合会〉

えびの市では、平成24年度まで「区長会」と「自治公民館連絡協議会」の2つの組織を設置していましたが、平成25年度に両組織の一本化を行い「えびの市自治会連絡協議会」へと移行しました。その後、平成29年度には「えびの市自治会連合会」へと名称の改正を行いました。

えびの市自治会連合会は、4地区(4中学校区)ごとに組織しており、65の自治会があります。自治会は、地域相互の連絡、協力、啓発に努め、自治活動の発展と集落の自治力の向上と地域活性化を図り、市の発展に寄与するとともに、住民の福祉の増進および住民生活の安全を図ることを目的として、世代の垣根を越えて地域が一体となって活発な自治会活動を行っています。

南部自治会（上江地区）



増田 賢造 会長

主な自治会活動

- ・ 打植祭や田の神まつり等
- ・ 伝統行事（西上江輪太鼓踊り等）
- ・ 学校支援（田植えや稲刈り体験）
- ・ そば打ちやみそ作り、から芋掘り等
- ・ コスモス、ひまわり植栽



田の神まつり



田植え体験

【南部自治会】

自治会名	自治会長名	班数	世帯数
池 島	星 指 勝 典	5	50
今 西	外 屋 幸 一	5	63
西 上 江	久 木 元 繁	4	76
中 上 江	池 田 孝 一	4	104
上 上 江	金 田 哲 夫	15	168
田 代	貴 嶋 俊 介	8	79
出 水	増 田 賢 造	3	59
末 永	新 原 正 次	4	69
白 鳥	山 本 四 郎	10	126
		58	794

令和2年4月1日現在の自治会加入数



打植祭

西部自治会（真幸地区）



宮浦 佳紀 会長

主な自治会活動

- ・着付け教室や伝統芸能踊り等
- ・京町温泉花火大会
- ・牛越祭や羽黒神社春祭り等
- ・精霊流し
- ・奉仕作業（神社清掃や施設草払い等）



鎌踊り



牛越祭



精霊流し

【西部自治会】

自治会名	自治会長名	班数	世帯数
水 流	中 武 透	9	118
南 昌 明 寺	吉 村 幸 雄	4	67
北 昌 明 寺	原 田 信 義	2	22
東 内 豎	境 田 正 満	6	74
中 内 豎	福 永 公 志	5	46
西 内 豎	岡 村 光 義	5	35
溝 ノ 口	藤 崎 雅 夫	2	20
北 岡 松	山 岡 義 春	3	67
南 岡 松	小 東 道 男	6	129
亀 沢	下 野 次 男	3	48
柳 水 流	西 田 時 治	3	47
京 町	妹 尾 哲 男	29	422
上 向 江	児 玉 博 幸	6	120
下 浦	今 園 秀 信	2	38
中 浦	末 原 和 久	5	101
上 浦	藤 嶋 浩 三	6	112
上 島 内	西 田 安 雄	5	50
下 島 内	宮 浦 佳 紀	7	156
西 川 北	津 留 誠	6	113
		114	1,785

令和2年4月1日現在の自治会加入数

中部自治会（加久藤地区）



堀川 純一 会長

主な自治会活動

- ・ 鯉のぼり設置
- ・ 大太鼓踊り
- ・ 球技大会（グラウンドゴルフ大会やスポーツ大会等）
- ・ 七夕作り、しめ縄作り、門松作り
- ・ 美化活動（城跡・神社清掃等）



七夕作り



大太鼓踊り



しめ縄作り

【中部自治会】

自治会名	自治会長名	班数	世帯数
松 原	上 野 盛 弘	5	61
前 松 原	吉 田 勉	4	72
麓	赤 川 吉 郎	5	113
中 島	堀 川 純 一	13	293
栗 下	上 谷 川 則 男	7	122
東長江浦下	明 石 秀 人	4	44
東長江浦上	岩 下 百 年	2	30
西長江浦下	鶴 永 利 秋	3	54
西長江浦上	玉 利 純 男	3	44
灰 塚	竹 本 周 一	2	29
永 山	迫 田 黙 太 郎	9	174
大 溝 原	西 田 和 政	4	60
湯 田	杉 元 義 男	4	69
西 郷	松 田 輝 久	4	103
東 川 北	駒 崎 政 行	4	73
榎 田	常 森 賢 二	2	30
牧 の 原	宮 園 重 男	2	24
尾 八 重 野	春 野 幸 一 郎	4	41
		81	1,436

令和2年4月1日現在の自治会加入数

東部自治会（飯野地区）



宮久保 辰二 会長

主な自治会活動

- ・ おこびらつつじ祭りや祇園祭等
- ・ 手芸教室やカルチャー教室等
- ・ かかし作りや灯籠作り、諏訪神社お札作り等
- ・ イルミネーション点灯式
- ・ あぜ焼きやどんど焼き



植栽



祇園祭



そば打ち

【東部自治会】

自治会名	自治会長名	班数	世帯数
堀 浦	西 道 覚 三	4	63
上 大 河 平	平 岡 哲 朗	6	107
下 大 河 平	溝 口 幸 男	12	158
杉 水 流	宮 久 保 辰 二	6	83
五 日 市	篠 原 一 利	7	74
東 原 田	橋 口 秀 義	5	137
麓	下 別 府 敏 則	20	352
町	漆 尾 憲 寛	9	285
坂 元	草 木 和 憲	12	117
前 田	前 田 勝 己	4	99
苧 畑	川 野 正 夫	5	61
大 明 司	地 主 俊 英	11	127
山 内	山 下 光 朗	4	45
駅 前	上 野 雅 博	19	220
中 原 田	時 任 栄 三 郎	8	129
上 原 田	酒 井 隆	5	56
南 原 田	野 村 守	25	300
高 野	堂 原 昭 八	2	31
片 馬 場	服 部 麻 美	5	87
		169	2,531

令和2年4月1日現在の自治会加入数

真幸まちづくり協議会

真の幸せまちづくり

平成 25 年 4 月 22 日（平成 27 年 4 月名称変更）

【主な活動内容や活動実績等】

- ① 児童・生徒登校時の見守り活動
- ② 学校支援活動
（野外学習での見守り、「昔の遊びを楽しもう」など学校行事の支援）
- ③ 寺子屋ランチ
（子ども食堂の実施）
- ④ 花いっぱい運動
（地区各自治会、小中学校に花の苗配布）
- ⑤ 真幸地区ラジオ体操の集い
- ⑥ 真幸地区小中学生ソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会、健康づくりウォーキング大会
- ⑦ 地区一斉防災訓練および啓発活動、安心安全な暮らしづくり教室
（防犯・防災講習開催等）



健康づくりウォーキング大会



寺子屋ランチ



安心安全な暮らしづくり教室

木村 哲也 会長



市制施行 50 周年を迎えられましたこと心からお祝いとお慶びを申し上げます。

私ども真幸まちづくり協議会は、本市のモデル地区として、平成 25 年 4 月 22 日に設立しました。『真の幸せまちづくり』をスローガンに、まちづくり計画に基づき、真幸地区の伝統や文化を生かしながら各種の活動に取り組んでいくところです。

本市の益々の発展を祈念しますとともに、真幸まちづくり協議会も地域と連携した活動を通して、真の幸せの具現化を目指してまいります。

加久藤まちづくり協議会

豊かな自然と郷土の文化を愛し、安心安全で住みよいまちづくり 平成 26 年 5 月 13 日

【主な活動内容や活動実績等】

- ① 環境美化活動
- ② 防災・防犯活動
（防災訓練、防災講話、防犯パトロール）
- ③ 交通安全活動
（シニアドライバー講習会、児童生徒登校時の交通安全見守り活動）
- ④ 健康推進活動
- ⑤ 高齢者見守り活動
- ⑥ ふれあい活動
（えびの駅を活用（クリスマスイベント、懐かしの写真展））
- ⑦ 学校との連携活動
（郷土芸能活動支援、小中学校駅伝持久走大会への交通整理支援等）

浜松 政弘 会長



市制施行 50 周年を迎えるにあたり心よりお慶びを申し上げます。この 50 年の歴史の中には色々な出来事がありましたが、えびの市民が一致団結し、苦難と喜びをわちあいながら素晴らしい故郷を創り上げてきました。しかしながら、著しく進む人口減少、少子高齢化により、まちづくりを進めて行く上で大きな課題が山積しているのも事実であります。加久藤まちづくり協議会としましても、行政をはじめ各関係機関の指導を仰ぎながら、できる限り自分達の地域は自分達で守って行くという方針の基、活動を行っておりますので、これからも地域住民の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。



防犯、交通安全啓発運動



防災訓練



交通安全見守り活動

【主な活動内容や活動実績等】

①地域交流部会

(スポーツレクリエーションの実施、歴史散策ウォークの開催、世代間交流等で清掃活動、花の植栽運動を開催)

②健康福祉部会

(百歳体操の実施、健康講話、健康教室、認知症学習会の開催等)

③飯野っ子部会

(飯野小学校・飯野中学校・飯野高校の合同活動であいさつ運動、登下校の見守り、田植え稲刈り等の農業体験活動の支援、郷土芸能(麓輪太鼓踊り)の指導、子ども食堂「飯野っ子スマイル食堂」の実施等)

④安全部会

(防犯・安全講話の開催、防災訓練、防災士による研修、先進地視察等を実施、0のつく日に交通立ち番で交通安全指導を実施等)

地主 俊英 会長



飯野まちづくり協議会も令和2年度で5年目を迎えます。地域の皆様には当初から絶大なご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

今年度は、これまでの活動・取り組みを踏まえて、地域が抱える諸問題や現状に即した新たな取り組みと組織改革を進めます。また、少子高齢化、過疎問題、地域防災等に対応する自立した地域を目指します。飯野地域が世代間で連携していくために、次の5年間に向けた新たな振興計画を作成し、安心・安全で住みやすい地域づくりに努力してまいります。



0のつく日交通立ち当番



親睦グラウンドゴルフ大会



健康づくり支援

【主な活動内容や活動実績等】

①まち協構成の8自治会グラウンドゴルフ大会

②健康づくり体力測定

(地区内のスポーツ推進委員の協力を得て、体力測定を実施)

③吉都線列車利用体験活動

(吉都線えびの上江駅からの日帰り列車小旅行を実施、地域伝統芸能揭示板の作成等)

④防災避難図上訓練

(防災訓練実施の前段で各自治会単位での図上避難訓練を実施)

⑤地域伝統芸能活動支援

(活動の継承、持続を支援)

池田 孝一 会長



市制施行 50 周年おめでとうございます。えびの市誕生から半世紀、自治体を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化、財政危機、市町村合併などで想像し得ないほど変貌し、本市も同様な影響を受けています。なかでも人口減少と経済の縮小は歯止めがかからず、厳しい状況です。構造的要因が背景にあり、一転攻勢とはいきません。しかし、今この節目を迎え『希望と夢』を持ち続け、私たち自身が地道な取り組みを丁寧に実践し、次代につなぐことを市民全員で確認する日にしましょう。私たちまちづくり協議会としても地域の多様な課題を地域の多くのひとと共有し、地域の『絆』を知恵と力に結集し活動します。



防犯交通安全講話



防災図上訓練



焼き物体験教室

市民 citizens message メッセージ



若者プロジェクト MAIKA



NPOえびの



グリーンパークえびの



えびの電子工業株式会社



地域おこし協力隊



京町こども園



市内最年長者（112歳） 濱邊ヒデさん



京町温泉みなほ会



J A えびの市 青年部



J A えびの市 女性部



えびの市 SAP 会議



えびの青年会議所



えびの市地域婦人連絡協議会



えびのロータリークラブ



えびのライオンズクラブ



陸上自衛隊えびの駐屯地



えびの市商工会 女性部



えびの市商工会 青年部



えびのエコミュージアムセンター



えびの市民生委員児童委員協議会

応援者メッセージ

supporters message

宮崎えびの会 井上 透 会長

えびの市制施行 50 周年誠にありがとうございます。

宮崎えびの会はお陰様で、昨秋創立 50 周年の歴史と伝統を培うことができました。えびの市に生を受けたものとしてご同慶に堪えない次第でございます。

故郷は昔より宮崎県の「西の玄関」であり、南九州の交通の拠点であります。

山紫水明豊かなえびの高原や矢岳高原、京町温泉郷や白鳥温泉、恵まれた風土のえびの米や農畜産物、知性や根性・豪快さをもち、人情味あふれる住民性など、どれをとりましても創生発展のエネルギーは整っております。

「故郷は遠きにありて思うもの・・・」えびの市の英知と実践力を結集され、私たち自慢の故郷が大きく発展しますように、「宮崎えびの会」会員一同心から祈念申し上げます。



関東えびの会 西田 和夫 会長

故郷えびの市が市制施行 50 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

関東えびの会は会員 500 名余りになりますが、ほとんどの会員は市制施行前に故郷を離れ、就職・進学、あるいは結婚して首都圏に居を構えた方々です。今では飛行機を使って日帰り帰省ができる時代となり、“ふるさととは遠きにありて思うもの”の感は薄れてきています。それでも、故郷を思い発展を願う気持ちを心に持ち続け、メディアで目にする故郷の話に一喜一憂し、勇気をもらう自分がいます。

新型コロナウイルスの猛威で、ふるさとに帰ることもままならない状況ですが、これからの 50 年・100 年先に、我が故郷がさらに輝きを増していることを願ってやみません。



関西えびの会 柚木 茂 会長

この度は、「えびの市制施行 50 周年」式典に際しまして、関西えびの会一同より、お祝辞申し上げます。

市制誕生以来、数々の事業展開など「えびの市」の変遷を市報などで見てまいりました。一方、自然の災いもあり、その対応、対策に市長、議会はじめ市民の皆様のご努力により、今日のえびの市があるものと感じております。

時節、関西えびの会は、本年 10 周年を迎えましたが、本総会は、“コロナ”により中止いたしました。ひと時も早い終息を願い通常の生活が戻ることを願っております。

本会は、大阪で行われる恒例の「えびの市物産展」のお手伝い、アンテナショップ開設など諸活動を通じ、今後ともえびの市との“つながり”を行ってまいります。

自然の恵みと厳しさが共存しているえびの市の環境を生かされつつ、えびの市の今後なお一層のご発展をご祈念申し上げます。



応援者メッセージ

supporters message

東海えびの会 加治佐 健二 会長

えびの市制施行 50 周年を心からお祝い申し上げます。

半世紀。過ぎて思えば早いものです。私も当時の加久藤駅を後にして、名古屋に就職したのが昭和 41 年の春でした。あれから 54 年も経ち 73 才になっています。

その間に合併してえびの市になり、高速道路ができ、橋が架け替えられ、空港にも近く、自慢の古里には発展の余地があります。

あの頃から変わっていないのが、自然の豊かさと、えびの駅の駅舎や市民の方々の心です。遠くに住んでいる私達には永遠の故郷なのです。



関東飯野会 奈良原 徳貞 会長

えびの市制施行 50 周年おめでとうございます。

もう 50 年！まだ 50 年！と両方の感想が湧いてきたのは関東にて生活の基盤を持つ飯野会の皆さんにとって共通の感想ではないかと思います。

鑑みますと西諸県郡からえびの市に住所が変わった時に初めて住所を記載した時の新鮮な気持ちを思い出します。

半世紀を過ぎてても我が故郷えびの市の素晴らしい自然は変わらず、その風景やえびの市民の方々の優しい笑顔を思い出すと帰りたくなる、とても大切な場所です。

過疎問題や高齢化問題など問題が山積だと思いますが、関東の地でえびの市の事を少しでもアピールして、村岡市長や職員の方達ともコミュニケーションを強くし、えびの市の存続と繁栄に少しでも貢献できるように飯野会も頑張って継続していきたいと考えております。

最後になりますが、えびの市民の皆様のご多幸を心から祈念致しましてお祝いのメッセージとさせていただきます。



福岡えびの応援団 川田 浩之 団長

えびの市制施行 50 周年おめでとうございます。

昭和 45 年当時、私は大河平小学校の 3 年生で、20 人の同級生とグラウンドを走り回っていました。

この 50 年、えびの市は口蹄疫の発生や新燃岳噴火など幾度となく災害に見舞われましたが、えびの市民一丸となり対策をとられ、乗り越えられてこられたことは、福岡県で働くえびの市出身者にとりまして誇りであり生活する上での糧となっております。

時節柄 50 周年イベントもままならない事とおもいますが、これからますますえびの市が市民のみなさんと共に発展されますことを心より願うものです。

えびの市制施行 60 周年記念時には、私もえびの市民となり皆様と一緒に祝いができますことを楽しみにしております。





九州きりしまえびの特別環境大使

二木 あい 氏

このたびは、市制施行 50 周年おめでとうございます！この記念すべき年に、特別環境大使に任命していただいたこと、とても光栄に思います。

えびの市を訪問した際に、恵でもあり脅威でもある自然に感謝共に生きていращやる市民の皆様の姿を拝見し、また郷土愛の強さを肌で感じ「わ〜。素晴らしいな」と、実感したこと、今でも鮮明に覚えています。

これからも、えびの市が誇る素晴らしい自然と共に、皆様が元気でお過ごしになれますよう、心から願っております。

今日も素晴らしい 1 日でありますように。



九州きりしまえびの特別親善大使

マンリオ・カデロ 氏 (駐日サンマリノ共和国特命全権大使)

九州きりしまえびの地方創生特命大使

藤山 邦子 氏 (駐日サンマリノ共和国大使館特別顧問)

えびの市制施行 50 周年、令和 2 年 12 月 1 日に御迎えあそばす節目に対しまして祝辞を心から念じ申し上げます。

村岡市長をはじめ、えびの市職員、市議会議員および県議会議員の皆様はえびの市民の負託をじゅうぶんにお受けになられ、自覚を持って今日も御活動なさっていらっしゃることと存じます。

まさにこのえびの市制施行 50 年間を守ってこられた皆様の協働の賜物ではないかと御察し致します。

美しく雄大な山々と広大な田園風景に魅了され続けている私にとってえびの市はかけがえのない魂の故郷です。

次世代を担う子どもたちが心から誇れるまちとして引き継いでいただくためには、わたくしたち大人もさらなる努力を惜むことなくそれぞれの使命を果たす必要があるかと存じます。

SDG6「きれいな水と衛生」は国連持続可能な開発目標 SDGs の他の目標のための前提条件です。

えびの市自治基本条例第 4 条第 4 号は、特に重要であるかとお見受けしております。

豊かで美しい自然環境の保全や食の安全に配慮したまちづくりを市民の皆様と公職に遂行される皆様の協働が成立してこそなし得た条例の実績が目に見えます。

陣の池の尊い水の源泉を目の当たりにしたわたくしたちは、言葉では語り尽くせぬ感動で今も心震える思いで、各国の大使たちや友人に伝えております。

市民の民度が高くなければこのような美しいまちは存在できなかったと思います。

益々の弥栄を祈念し、これからもわたくしどもができる最大の貢献をさせていただきたく存じます。

数字でみる現在のえびの

人口 令和2年10月1日現在

現住人口 17,637人

男性 8,332人

女性 9,305人

世帯数 8,195世帯

自治会加入率 79.7%

(令和2年4月1日現在)

令和元年出生者数 112人

産業

第1次産業 2,172人

第2次産業 1,877人

第3次産業 5,543人

(2015 国勢調査)

面積

総面積 282.93km²

田の面積 2,440ヘクタール

畑の面積 1,260ヘクタール

(作物統計調査)

※市の面積は境界未定のため推計面積

これからのえびの

未来へ輝く農業を目指して

平成22年に発生した口蹄疫によって多くの牛や豚が殺処分され、平成30年には硫黄山噴火の影響により長江川が白濁したことで河川流域の稲作を断念するなど、えびの市の基幹産業である農業が大きな被害に見舞われました。

それでも復興に向けた多くの方々の絶え間ない尽力により、えびの市が誇る宮崎牛は「全国和牛能力共進会」で3大会連続「内閣総理大臣賞」を受賞しました。また、県内有数の米どころであるえびの市のヒノヒカリは米の食味ランキングで宮崎県内初の最上位「特A」を獲得するなど、栄えある功績を残し続けています。

えびの市はこれからも豊かな自然と共存し、後継者や担い手が地域のリーダーとなって、さらに魅力のある農業への発展を目指しています。



全国和牛能力共進会「内閣総理大臣賞」受賞



米の食味ランキングえびの産ヒノヒカリ「特A」獲得

これからのえびの

次世代を担う人材を守り育てたい

えびの市では市独自の施策として、平成27年度から第3子以降保育料無料化事業などによる子育て世代への支援を行っています。また、小学校・中学校全学年において平成26年度から30人学級を完全実施したことにより、一人一人と向き合うきめ細かな指導を確保し、基礎学力の向上や子どもが主体的に授業に参加できる環境を整えました。

平成22年12月20日、飯野高等学校が統廃合検討校となることが懸念されるなか、えびの市で唯一の県立高校である飯野高等学校を支援するため「飯野高等学校を守り育てる市民の会」が発足しました。また、公営塾「成銘館」の開講をはじめとする支援を行っているほか、特色ある学校づくりや学校と地域の連携等が認められ全国枠が導入されました。これからも地域に根差した魅力ある学校づくりへのサポートを行っていきます。



30人学級



飯野高等学校校舎

新たな可能性を求めて

平成25年に念願であった道の駅えびのが開業し、現在、農畜産物や観光資源などの魅力を県内外に大きくPRすることができています。平成31年にはリニューアルオープンし、今後のPR拠点としての活躍が期待されています。

また、令和3年3月に産業団地が完成を迎えます。南九州の真ん中という地の利を生かした企業誘致を行うことで、就職先の拡大による柔軟な働き方の選択が可能になります。さらに、魅力的な産業が立地することにより、住みよい環境の確保や地域への若者の定着率が向上し、将来にわたって活力のあるまちを維持していきます。



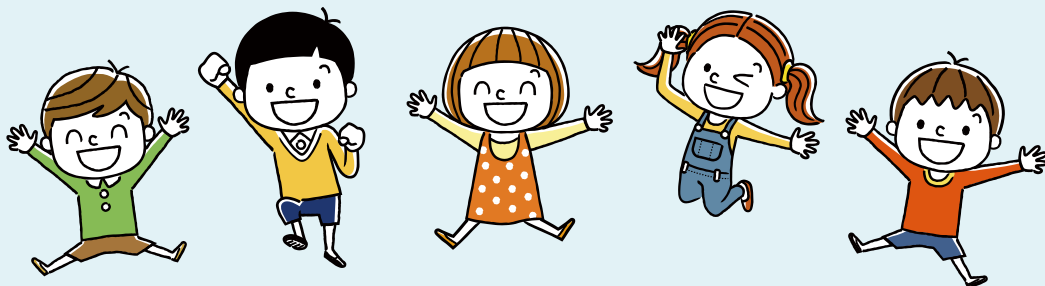
道の駅えびの



産業団地（写真提供：国土交通省川内川河川事務所）

未来のわたし

子どもたちから将来に向けたメッセージ



上江小中学校



小学6年 ^{しまき} 島木 ^{さや} 桜矢さん

私は、命を守る仕事がしてみたいと思い、将来は警察官になることが夢です。そのために努力していることは勉強です。特に算数の勉強をがんばっています。今、学校で学んでいることは、全て警察官になるために必要なことなので、学校ではしっかり授業を聞いています。

私は、お米やいろいろな食べ物がとってもおいしいえびのが大好きです。えびのは自然の音が聞こえます。そして、やさしい人がたくさんいます。

私は将来、立派な警察官になって、この大好きなえびのの人達を守りたいと思います。

6年 ^{やました} 山下 ^{めい} 芽依さん

私の将来の夢は、フライトナースになることです。それは、テレビでドクターヘリに乗る看護師が医師をサポートしている姿を見てかっこよいと思ったからです。私は、えびのの心温かい人達が好きです。だから、看護師になったら、えびのの人達の力になりたいです。

そのために、頑張ることが三つあります。まず、今のうちから勉強を頑張ることです。次に、周りの人からの信頼を得ることです。それから、今より気付く力を身に付け、困っている人のサポートが自然とできるようになることです。この三つを頑張って、フライトナースになり、患者さんに寄り添える看護師を目指したいです。

加久藤小学校



6年 ^{おがた} 緒方 ^{みお} 美桜さん

私は、テレビで、実際に警察官の人が犯人を捕まえたり、パトロールをしたりと、様々な場面で活躍しているのを見て、将来は警察官になりたいと思っています。学校に行くときも、警察官の人が見守りをしてくれています。それに、地域の人もいつも横断歩道のある場所で、私たちに「おはよう」とあいさつをしながら、安全を見守ってくれています。これは、えびのならではのよいところだと思います。

えびのは空気がよくて、水もおいしいです。これからもずっと今のような環境、そして安全なまちが続いてほしいと思います。

飯野小学校



6年 ^{たばた} 田畑 ももさん

私は、将来のえびの市は、自然が多いだけでなく、にぎやかになってほしいです。にぎやかというのは、京町のほこりでもある温泉がもっと有名になり、たくさんの人が訪れるということです。その理由は、えびの市らしさがずっと続いてほしいからです。えびの市らしさを守っていくためには、今ある自然を大切にしたり、京町の温泉のよさをいろんな人に広めたりしていくことが必要だと思います。

私が大人になっても、たくさんの温泉や豊かで美しい自然に囲まれたえびの市であり続けてほしいと思います。

真幸小学校



岡元小学校



6年 ^{かわはら} 川原 はる 羽琉さん

ぼくの将来の夢は、畜産農家になることです。家族が畜産農家をしていて、夜遅くまで牛にえさをあげたり、50頭近くの牛から搾乳をしたりするのがとても大変そうです。しかし、いつも休まず、牛の世話をしているところがカッコいいなと思って、畜産農家になりたいと思いました。畜産農家になって、おいしい牛乳を作れるようになりたいです。

えびの市は、自然が豊かで、景色がきれいで、お米がとてもおいしいところです。そんなえびのがぼくは、大好きです。夢に向かって勉強をがんばっていきたいです。将来はえびのに帰ってきて仕事をしたいです。

中学3年 ^{のだ} 野田 りな 里奈さん

私は、将来、栄養士になりたいです。栄養の大切さと食の楽しみを一人でも多くの人に知ってもらえるような栄養士になりたいと思っています。毎日の栄養のバランスを考えて私たちの給食の献立を考えてくれる栄養士さんはすごいと思います。

えびの市は、自然豊かで温泉があり、景色のきれいなところです。そんなえびの市だから、多くの人が住みたくなるようなまちだと思っています。私も10年後は、自分の生まれ育った大好きなえびの市で立派な栄養士として勤められればと思います。

上江小中学校



加久藤中学校



3年 ^{まつさか} 松坂 はなさん

えびの市は、えびの高原やクルソン峡など豊かで美しい自然がたくさんある素敵なまちです。私は、そんなえびの市が大好きです。

私の将来の夢は、小学校の教師になることです。小学校教師になり、いずれ故郷のえびの市で勤務したいと思っています。私たちが大人になったとき、えびの市が10年、20年、50年先も魅力的で美しいまちであり続けるように、教師として、子どもたちにえびの市の魅力を伝えていくとともに、えびのの自然を大切にし、みんなの笑顔があふれるようなまちをつくっていききたいと思います。

3年 きもと こうや
木元 洸陽さん



私の将来の夢はえびの市役所で働き、ずっとえびの市で暮らすことです。えびの市は景色がきれいで自然がとても豊かです。そして、地域の人がとても優しくいつも笑顔にあふれています。私はこの温かく優しさにあふれたえびの市が大好きです。

えびの市ですっと暮らしたいと思うほどえびの市が好きな私ですが、よりよくしていきたいところもたくさんあります。例えば、子どもが気軽に遊べる公園などの施設が少なく、整備されていないところが多々あることです。小さい頃からえびの市に住んでいたからこそ分かることもたくさんあります。なので、えびの市をもっとたくさんの人に好きになってもらうために、将来えびの市をよりよく改革していきたいです。

そして、50年後も100年後も今以上に輝き続けられるようなえびの市をつくっていけるよう頑張っていきたいと思います。

3年 うのき ののは
鵜木 希羽さん

私の夢は、多くの子どもたちを救うことです。救うといっても、健康面、心の内面のケア、教育面や環境面、虐待などたくさん助けないといけないことがあると思います。私はまだ具体的に子どもたちの何を助けていくか決めていません。そのためにも、どの職業にも就けるように、勉強はもちろん、語学力等、今のうちからいろいろなことを学んでいきたいと思います。

また、私が住んでいるえびの市は、学習面で援助をしてくださり、英検を無料で受験することができます。将来の夢のためにも英語力は必要だと思うので、とてもありがたいです。他にも、お米がおいしく、医療体制も整っているので、住むには抜群の市です。あわせて、人の温かさ自慢です。この恵まれた地えびの市で育ってよかったと思います。これから、さらに学びを進めて、夢に近づけるよう、勉強・私生活で多くの学びを経験・体験していきたいと思います。



3年 かわそえ ゆうま
川副 佑馬さん

私は長年育ったえびの市に恩返しをするために、地域をPRして地元の良さを伝えたいと思っています。えびの市に数ある自然の豊かさ、地域住民のつながりはここにしかないものであり、えびの市が誇れるものです。

将来、私はえびの市の発展に貢献することができる市役所職員に就きたいと考えています。えびの市で暮らす人々がより住みやすく、県内外の人が住みたいと思えるようなまちづくりをしていき、えびの市に住む人々や将来生まれ育つ子どもたちに良い故郷だと思ってもらえるような地域を目標として頑張っていきたいです。



みんなで築いた50年 次に進もう新時代

えびの市制施行50周年記念事業ロゴマーク・キャッチフレーズ

○ロゴマーク最優秀賞 梅村 元彦さん（愛知県春日井市）

作品説明：えびの市の温かな心で市民が明るく楽しく生きている町で50周年を笑顔で迎えお祝いをしている様子を表現しました。

○キャッチフレーズ最優秀賞 井深 靖久さん（愛知県清須市）

キャッチフレーズ：「みんなで築いた50年 次に進もう新時代」

作品説明：これまでの50年を振り返り、次なる時代への意気込みを文字にしました。



市章

霧島山にたなびく雲の美しさを表現した三角形は、飯野・加久藤・真幸三町の合併を意味し、二筋の雲により全体をひらがなの「え」の字に見えるようにしました。また、三角形は角を落として他市町村にない独自の形として、限りない未来への発展の矢印ともなっています。

（昭和49年4月11日制定）



市の木「きりしまあかまつ」

市民憲章の「自然を守り、緑豊かなまちをつくりましょう」の趣旨のもと、市民からの公募により市の木を「きりしまあかまつ」と制定。

えびの高原の赤松千本原の赤松林は、特に見事で、「風雪に耐えてきたその姿は、市の発展を示しているようで市の木としてふさわしい」として、制定されました。

(昭和 53 年 12 月 1 日制定)



市の花「えびね」

えびの地方では、以前から、観賞用として親しまれており、「女性的なやさしさのなかに、一本の花茎に集う花は、その美しさとともに和をみせて市の花にふさわしい」として制定されました。

(昭和 53 年 12 月 1 日制定)



みなほ

えびの市のマスコットキャラクターで、市制施行 30 周年にえびの市の公式ホームページのマスコットとして初登場。平成 22 年 12 月 1 日の市制施行 40 周年の際に、マスコットキャラクターが「みなほ」と命名されました。「みなほ」の名前には、「みんなの稲穂」「みんなほがらかに」の意味がこめられています。



田の神さあ

田の神は、冬は山の神となり、春は里におりて田の神となって田を守り、豊作をもたらす神さまとして信じられてきました。稲作を奨励する藩の政策を受け、農民達が噴火などの災害がおさまり、豊作に恵まれるようにとの願いを込めて造ったのが田の神石像の始まりです。

えびの市民歌

作詞 浅川 忠五郎
作曲 吉田 正

一 霧島山の霊峰に

綾なす雲は たなびきて
曙光あふれる えびの市は
市民の誇る 歴史あり
語りつがれし 木崎原
明日の栄を 輪になりて
ともに築かん ああわが故郷

二

秋の山脈 火と燃えて
沃土の盆地 穂波ゆれ
風さわやかに えびの市は
赤松林 高原と
いで湯の里は 幸をよぶ
生き甲斐求め 肩くみて
ともに進まん ああわが郷土

三

母なる川は 川内川の
久遠の流れ 水豊か
伸びゆく大地 えびの市は
希望明るく 夢結ぶ
若く新たな 意気満ちて
寛き心の 手をつなぎ
ともに語らん ああわが家族

(昭和五五年二月一日制定)

えびの音頭

作詞 黒木 淳吉
作曲・編曲 小西 悠史
唄 橋 幸夫
金澤 明子

一 ススキえび色 高原行けば

月をうつして 露天風呂
(ハヤシ) えびのよかとこ よかとこばっかい

二 参る白鳥神社 紅白ぼたん

ぱつと花咲く お湯もある
(ハヤシ)

三 鐘太鼓ひびく ウバッチョ踊り

よか若衆どんの 息はずむ
(ハヤシ)

四 湯の里京町 ひと風呂浴びて

あの娘の土産は 二日市
(ハヤシ)

五 雲か霞か えびののループ

展望台は しっぽりと
(ハヤシ)

六 ベブがとぶとぶ 牛越祭

ぬしと育てて むぜもんじや
(ハヤシ)

七 つつじ祭の 八幡丘に

二人仲良う おじやはんか
(ハヤシ)

八 焼酎法然 金松さんに

一言サアの 願をかけ
(ハヤシ)

九 矢岳登って 草そりスキー

戻や吉田温泉で 肩ほぐす
(ハヤシ)

十 今日 豊年祭じゃと田の神サアも

おごじよをまねて 色直し
(ハヤシ)

(昭和五五年二月一日制定)

市 民 憲 章

(昭和48年6月18日制定)

わたくしたちは、誇りある伝統と恵まれた自然の中にはぐくまれたえびの市民であることを自覚し、より住みよいまちづくりのためにこの憲章を守りましょう。

- 一、自然を守り 緑豊かなまちをつくりましょう
- 一、健康で明るいまちをつくりましょう
- 一、たがいにとすけあい 楽しいまちをつくりましょう
- 一、教養を高め 文化のまちをつくりましょう
- 一、みんなで栄える 住みよいまちをつくりましょう

えびの市自治基本条例前文

えびの市は、雄大な霧島の山々と母なる川内川など美しい自然と広大な田園風景に囲まれたまちです。ここに、田の神さあをはじめ、地域ごとに特色のある伝統や文化、芸能を守り受け継いできた人々が暮らしてきました。

このかけがえのないえびの市を、市民が主体となり互いに支えあいながら、市民一人一人が幸せを実感できるまち、次世代を担う子どもたちが誇れるまちとして、引き継いでいかなければなりません。

そのためには、市民が互いに責任を担い、市政に市民の声が反映される協働のまちづくりが必要です。

私たちは、自らの地域を自らが築いていく地域社会の実現を目指し、ここにこの条例を定め、これをすすんで実践していきます。

霧 島 山 の
め ぐ み め ぐ る
え び の

山と水、米と肉。温泉と四季のまち。

えびの市制施行50周年記念誌

発行日 令和2年12月

発行者 えびの市

〒889-4292 宮崎県えびの市大字栗下1292番地

T E L 0984-35-1111

F A X 0984-35-0401

<https://www.city.ebino.lg.jp/>

